

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年11月15日

計画の名称	安全・安心で快適な暮らしを支える下水道整備の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	豊橋市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の耐震対策を適切に実施することにより、災害に強い施設を目指す。 ・施設の耐水化対策を適切に実施することにより、水害に強い施設を目指す。 ・雨水管理総合計画を策定することにより、浸水災害への適切な対策を図る。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	661	A	661	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R6当初	中間目標値 R8末	最終目標値 R10末
1	巨大地震時におけるポンプ場の耐震化率を61.7%（R6当初）から69.6%（R10末）に増加 巨大地震時におけるポンプ場の耐震化率の向上 $\text{ポンプ場の耐震化率（％）} = \frac{\text{耐震整備実施施設数（施設）}}{\text{耐震整備が必要な総施設数（施設）}}$	61%	64%	69%
2	中高頻度で発生する浸水時におけるポンプ場の耐水化率を10.8%（R6当初）から57.8%（R10末）に増加 耐水化計画で定めたポンプ場の耐水化率の向上 $\text{ポンプ場の耐水化率（％）} = \frac{\text{耐水化済施設数（施設）}}{\text{耐水化が必要な総施設数（施設）}}$	10%	30%	57%
3	中高頻度で発生する浸水時における処理場の耐水化率を18.3%（R6当初）から82.3%（R10末）に増加 耐水化計画で定めた処理場の耐水化率の向上 $\text{処理場の耐水化率（％）} = \frac{\text{耐水化済施設数（施設）}}{\text{耐水化が必要な総施設数（施設）}}$	18%	39%	82%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
・豊橋市地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A07-001～A07-003																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ場	改築	菰口ポンプ場他（地震対策）	設計	豊橋市	■	■	■	■		290		—	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
	備考																			
	総合地震																			
	A07-002	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	ポンプ場	改築	菰口ポンプ場他（耐水化）	設計	豊橋市	■	■	■	■	■		98		—
		耐水化																		
	A07-003	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	終末処理場	改築	中島処理場他（耐水化）	設計	豊橋市		■	■				73		—
		耐水化																		
	A07-004	下水道	一般	豊橋市	直接	豊橋市	管渠（雨水）	—	雨水管理総合計画策定	計画策定	豊橋市		■	■	■			200		—
											小計							661		
											合計							661		

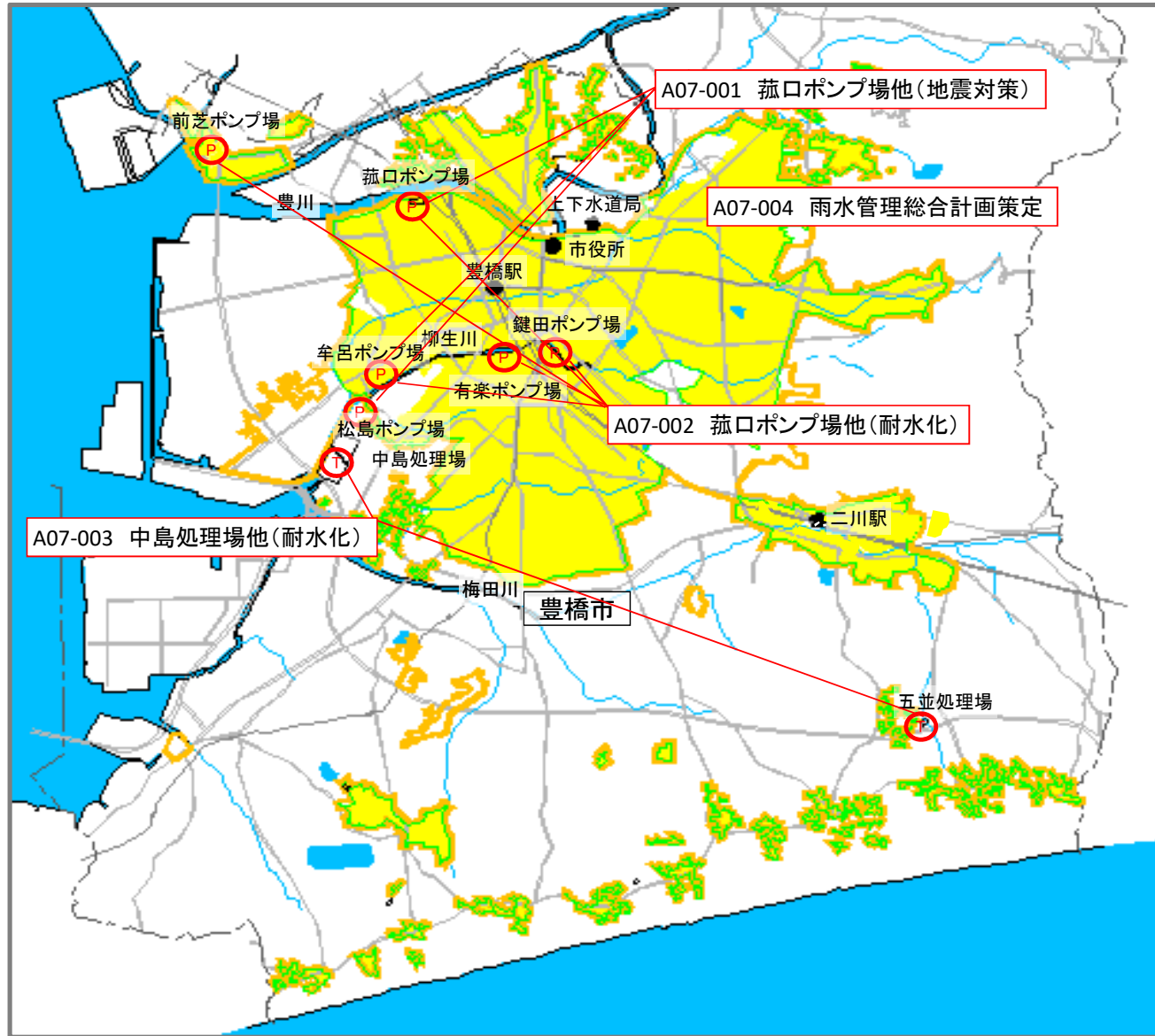
事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心で快適な暮らしを支える下水道整備の推進（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
1) 上位計画と適合している。上位計画（渥美湾等流域別下水道整備総合計画、全県域汚水適正処理構想）	○
I. 目標の妥当性	
2) 下水道事業計画と適合している。（豊橋市公共下水道・特定環境保全公共下水道事業計画、豊川流域関連豊橋市公共下水道事業計画）	○
I. 目標の妥当性	
3) 関連する他事業の計画と適合している。関連する他事業（豊川流域下水道）	○
I. 目標の妥当性	
4) 各種法令を遵守している。	○
I. 目標の妥当性	
5) 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
4) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
5) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面)

計画の名称	安全・安心で快適な暮らしを支える下水道整備の推進 (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	令和6年度 ~ 令和10年度 (5年間)	交付対象	豊橋市



対象施設数

- A07-001: 菰口ポンプ場他2ポンプ場
(菰口、牟呂、松島)
- A07-002: 菰口ポンプ場他4ポンプ場
(菰口、鍵田、有楽、牟呂、前芝)
- A07-003: 中島処理場他1処理場
(中島・五並)

凡例

- 全体計画区域(汚水)
- 下水道法による事業計画区域(汚水)
- 既整備区域(汚水)
- 今回計画事業